

シニア世代の生きがいづくり支援情報誌

わくわくライフ いばらき



■ローカル線の旅 鹿島臨海鉄道 大洗鹿島線
田園の中をコトコトといく
海沿いの街から
深い信仰の街へ

■特集

ねんりん。ピック 熊本 2011

■セカンドステージ
シニアアーライフを
豊かに生きる

熟年ネット・ひたち（日立市）

平成22年撮
J-net 年末交流会



2011
VOL.

104 冬

発行：茨城わくわくセンター

平成22年度 J-net 年末交流会



生き生きとシニアライフを過ごすメンバーが1年間の活動をねぎらう年末交流会

シニアライフを豊かに生きる 学び、交流し、社会貢献へ

「シニアライフを心豊かに生きる」ことを目指し、定年退職者と主婦らが熱心な市民活動を開催しています。「仲間づくり」「生きがいづくり」「大好きひたちづくり」を掲げ、約60人の会員が感謝と助け合いの心を大切にしながら①シニアグループ活動②地域活動入門講座③薬習会④自

夢をカタチに… セカンドステージ

熟年ネット・ひたち

[日立市]



ボランティアの きっかけづくり

「何か」をしたいのだけれど、きっかけがつかめないと声を良く聞きます。特に、ボランティアとなれば敷居が高く感じて、行政や社会福祉協議会などの窓口も通さかりがちです。こうした中、気軽に参加できるのが新年ネット・ひたち「無理せず、楽しく活動する。楽しくないと長続きしない」代表世話人の掛田優さん(77)は話します。

人会を呼び掛けるのがシニア地域活動入門講座。平成12年度から始まり、年間10回の講座で日立市の歴史やボランティア、生きがいづくりなどを学びます。19年度からは市社会福祉協議会との共催になりました。本年度は東日本大震災の影響で開講が遅れましたが、6月ト旬の開講式は茨城大の長谷川幸介准教授のユーモアたっぷりの基調講演があり、1月上旬に全講座を終了しました。

自分にマッチした 活動を見つける練習会

その後、地域を学びながら自己発見し、自分が合った社会活動を見つけるのが「楽習会」です。毎月2回定期的に開催されます。本年度は交通安全や市民活動、歴史などの講座のほか花王・鳥見学や芋煮会などを実施しました。県の職員を講師にした「大好きいばらき県民運動」をテーマの出前講座もありました。年明けには料理や伝統工芸などを学ぶ講座が予定されています。

樂習会の中には、まよんとしたテーマを決めず、参加者が好きな放題に意見交換する「井戸端会議」も組み込まれています。今年5月の会議は大震災後とあってかそれでの体験談が語られ、放射能問題も大きなテーマとなりました。

活発な自主グループ

楽習会などを第1ステージとして、活動のきっかけがあれば自主グループ活動が用意されています。すでに仲間づくりはできているため、スムーズにボランティアに入ります。約10グループあり、このうちおもちゃの病院は子どもたちから大人気。市内5カ所に診療所があり、動かなくなったり玩具を診療見て、治療(麻痺)します。各種のイベントでも開院します。グループ・ピニオンの活動拠点は老人保健施設・シニア健康センター「しおさい」・デイサービスの送迎、話し相手や趣味の手伝いなどをしています。リーダーの桑名勇児さん(74)は「昨年からミニ夏祭りも開き、喜んでもらっている」と笑顔で話します。同じ自主グループのオカリナハートはピニオンと連携して毎週、オカリナ演奏会を開いています。

「新年ネットは細いこの細からいろんな芽が出ている。さまざまな社会活動にしても横のつながりがあるので、続いている」と掛田さん。平成6年に15人足らずで始まった日立市の市民活動グループは60人に増え、確固たる足跡を残しています。今後もネットワークは広がりそうで、元気なシニアの意欲は衰えをじりません。

